

「やす緑のひろば」 野洲川北流跡自然の森整備活動

令和 3年11月15日

レイカティア大学同窓会守山・野洲支部
発表者 中山 幸夫（30期・地域文化）

やす緑の広場の団体紹介

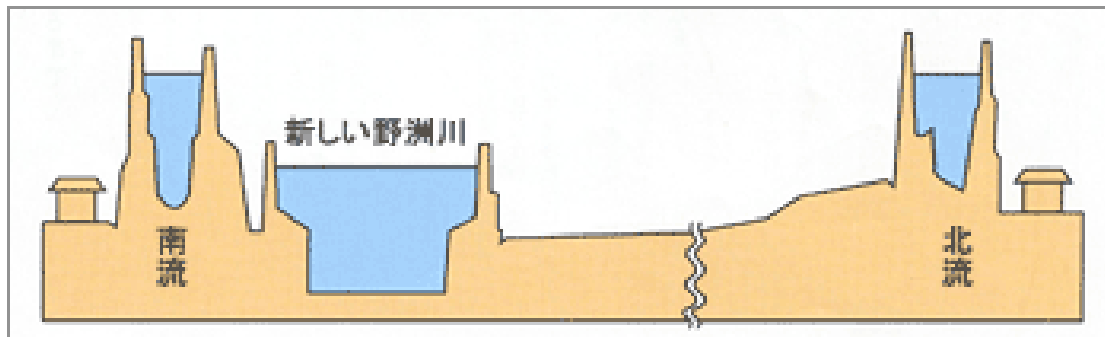
代表者	熊本 正幸
発足年月	2011年(平成23年)6月
会員数	37名(内レイカティア大学卒業生及び在校生 10名)
組織形態	任意団体
主な活動場所	野洲川自然の森
活動日	第一火曜日 第三土曜日 第四木曜日の午前9時~12時
団体の活動	21世紀の低炭素社会における緑豊かな田園都市としての野洲市の緑化の推進 ならびに緑に囲まれた野洲市の景観形成を創造することを目的として活動

やす緑のひろば活動場所 (野洲川北流跡自然の森)



野洲川北流跡自然の森

- 野洲川は川底高く（天井川）、よく氾濫していた。今の野洲川は北流（野洲市）と南流（守山市）の中央に人工的に造成した放水路。
- 自然の森は、その北流跡地で、廃川になって約30年間手入れされず、竹が繁殖、荒れ果てて人は近づけなかった。
- 平野部に残った貴重な緑、地域のいやしの森、また生き物にも優しい自然豊かな森として整備し、次の世代まで引き継ごうと、有志で整備開始した（平成19年、2007年）。



やす緑の広場会員集合写真



竹裁断チッパー



自走式草刈り機



2019年頃のまだまだ伐採中と現在の整備後



草刈り、草刈り

森のひろば、実生（みしょう）若木な
どの周囲



丸太橋の資材準備



散策路整備

丸太橋架設、補修

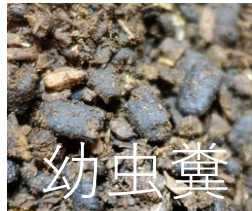


カブトムシが沢山！狸も！

- ・ 伐採した竹を積み上げ腐って腐葉土になったところ、多数発見。
- ・ 幼虫は何を食べて大きくなる？糞はどうなる？成虫は？
- ・ 森には樹液の出るクヌギやコナラの大木がたくさんありました。



- ・ 竹が繁茂、暗く、クヌギやコナラの若木育っておらず、大木は台風で倒れたり、キクイムシ害虫による「ナラ枯れ」で枯れたりして減少。
- ・ しかし竹を伐採したところでは、日当たり良くなり、今は若木が成長、カブトムシ助かった！
- ・ 狸は幼虫が大好き、腐葉土を掘り起こして食べる。痕跡多数あり
- ・ 狸の溜め糞、何を食べたのか？
 - ・ 木の実の種？



幼虫糞



キジもいるよ！

- 森の中や、ミニ三上山
周辺の草原にいます。
 - 草刈り中、卵のある巣の上を刈り取ったことも
 - ”ケーン“と高い鳴き声
 - メスに存在知らしめる
- 子連れ親鳥は人が近づいても、子鳥が隠れるまで逃げずに、戦うように、かかってきました。



自然の森は野鳥の休憩所

- ・ 滋賀県立大学の学生による調査(2012-2014)
- ・ 37種類 (月1回、毎回50-60羽程度) 観測
 - ・ 冬鳥、漂鳥が越冬地として利用 (ホオジロ、ベニマシコなど)
 - ・ 夏鳥が渡りの中継地として利用 (サンコウチョウなど)
 - ・ 木の実の種を森のあちこちに散布している



貴重なトンボもいるよ

- ・マイコアカネ
 - ・レッドブッカー希少種



- ・水辺と里山の境界辺りの環境で生息
- ・農薬使用でめったに観測されていなかった
- ・自然の森とその傍の水たまり



楽しい森に！



活動は楽しく

仲間がたくさん、元気がでます



竹飯作ったり



休憩も楽しく



親子自然観察会風景



秋の観察会 竹飯、竹細工

自然の森学習風景(小学校4年生の野外学習)



光と竹のカーニバルIN2021 (R03/10/30-10/31)



野洲青年会議所主催・やす緑のひろば共催

「やす緑のひろば」 野洲北流跡事前の森整備活動発表

ご清聴ありがとうございました